

◆単元を見通して言語活動を位置付ける 「単元構想、探究の学習過程及び言語活動関連図」
第3学年 「アンニョンハセヨ！ 韓国・朝鮮」

本市で「総合」の単元において作成されている単元構想図に、「学習活動」「探究の学習過程」「言語活動」「思考操作」「他教科等との関連」の項目を新たに加えて示す「単元構想、探究の学習過程及び言語活動関連図」を提案します。

「単元構想、探究の学習過程及び言語活動関連図」を作成することで、指導者は、次のことが意識できます。

- ① 探究的な学習になっているか。また、いま、行っている学習活動が探究の学習過程のどの過程なのか。
- ② 単元を見通して、なぜ今この言語活動をしているのか。
- ③ そのとき、どのような思考操作を行うのか。
- ④ 他教科等との関連はどうなっているのか。

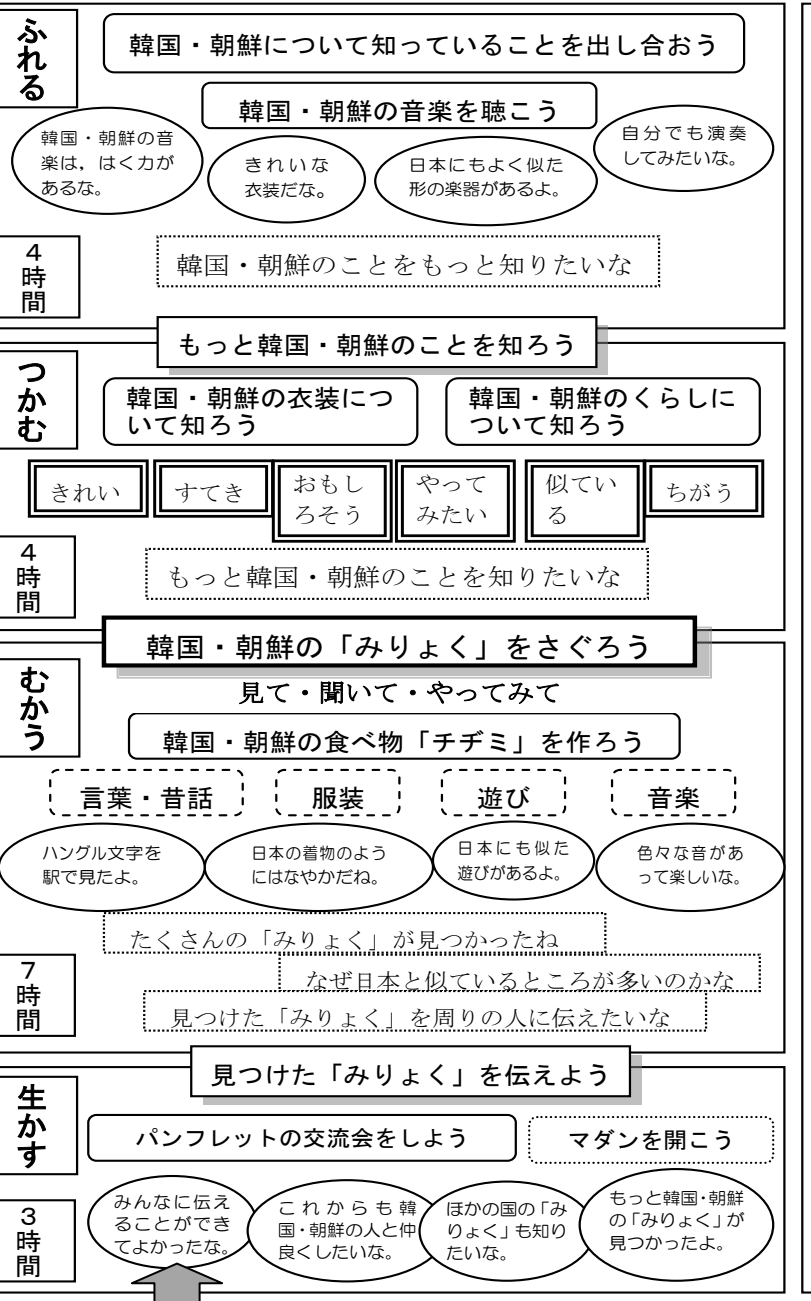
単元を構想するときのポイント

・付きたい力
・単元の目標
・学習内容を
を確認する。

既習内容
（「国際理解」「韓国・朝鮮」について）
を確認する。

- 単元を構想する**
- 《留意点1》
探究の学習過程「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の四つを経ること
- 《留意点2》
協同的な学びを設定すること
他者（友だち・コミュニティリーダーなど）と協力して学ぶ。
- 《留意点3》
体験活動を設定すること
・見る、聞く、やってみる。
・意図的に体験を重ねる。
- 《留意点4》
探究の学習過程に、言語活動を位置付けること

第3学年 アンニョンハセヨ！ 韓国・朝鮮（18時間）
単元構想図



学習活動	探究の学習過程
今までの学習を振り返る 1h	情報の収集
韓国・朝鮮の音楽を聴こう(新しい文化にふれる) 2h	情報の収集
感想を交流する 1h	整理・分析 課題の設定
韓国・朝鮮の衣装について知ろう 韓国・朝鮮の暮らしについて知ろう(食・住・言葉・ハン글文字・遊びなど) 1h	情報の収集
感想を書く 1h 感想を交流する 1h	整理・分析
課題づくり 1h	課題の設定
韓国・朝鮮の食べ物「チヂミ」を作ろう 2h 感想を書く・交流する 0.5h	情報の収集
自分の考えたグループで活動する 2h 感想を書く・交流する 0.5h	情報の収集
今までの活動の感想を整理し、分析する 1h	整理・分析
疑問を解決する 1h	整理・分析
パンフレットにキャッチコピーをつけよう 1h	まとめ・表現
パンフレットの交流会をしよう 2h	まとめ・表現
マダンを開こう	まとめ・表現 課題の設定

考えられる言語活動(○・)思考操作(□)及び各教科等との関連(←)

- 記録
・ウェビングマップに書く。 →社会
 - 観察・鑑賞・記録・質問・感想
・メモする。 ・感想を書く。 →国語・社会
理科・算数
音楽
 - 交流(グループ)
・キーワードを整理する。
・キーワードをもとにウェビングマップに整理する。
・発表・交流(全体)
・ウェビングマップに整理する。
・整理したウェビングマップから分析し、課題をつくる。
 - 観察・記録・質問
・メモする。
 - 感想・交流(グループ)
・感想を書く。
・キーワードにまとめる。
・キーワードをもとにウェビングマップに整理する。
・発表・交流(全体)
・感想を発表する。
・整理したウェビングマップから分析し、課題をつくる。
 - 観察・体験・記録・質問
・メモする。
 - 感想・交流(グループ)
・感想を書く。
・キーワードをもとにウェビングマップに整理する。
・発表・交流(全体)
・感想を発表する。
・整理したウェビングマップから分析し、「みりよく」をまとめる。
 - 読み取る
・地図やグラフから読み取り、自分の考えをまとめる。
 - パンフレットづくり
・キャッチコピーをつける。
 - 交流(全体)
・紹介する。 ・聞く。
・感想を言う。
・振り返る。
 - 交流・発表(全体)
・振り返る。
- パンフレットづくり
←国語
←社会
- 仲間分け
比較
関連付ける

「アンニョンハセヨ！韓国・朝鮮」の言語活動のポイント

- 単元を貫く言語活動(「まとめ・表現」)
「パンフレットに表して交流する」を位置付けました。
◆第3学年 社会科
「商店のはたらき」と並行。
(パンフレットづくりについては、資料7 パンフレットを参照)
 - 「整理・分析」では、ウェビングマップを使って、自分の考え、友だちの考えを整理する活動を位置付けました。
(資料6 ウェビングマップ「総合」・言語活動カードを参照)
◆ウェビングマップを使うことで・・・
 - 仲間分け 同じカテゴリに分類する。
 - 比較 ほかの活動で発見したことと比べて、似ているところ、違うところを見つける。
 - 関連付ける 二つの活動から共通点やつながりを見つける。
- ※この活動を、他教科等でも生かすようにしました。
- グループ交流・全体交流を取り入れることが大事です。

